

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21年 2 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 0 7 7 0 3 0 2 6 3 6
法人名	有限会社
事業所名	グループホームつどい「宝柳家」
所在地	福島県郡山市喜久田町字前北原53-115 (電 話) 024-927-1507

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町竹の花 20
訪問調査日	平成21年 1月 30 日

【情報提供票より】(21年1 月 20 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18 年 3 月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	21人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2 階建て、1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
1日1300 円				

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	6 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88.64 歳	最低	66 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さがわ内科・消化器科クリニック 今村ホームクリニック 牧歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

認知症対応プログラムを上手く取り入れ、生きがいを持ち自由な暮らしを一緒に寄り添いのんびりと時を過ごす同志のようなまなざしは、信頼関係があるから成り立つものである。ISO9001基準に沿ったゆるぎない支援はプロとしてのスキル向上自覚がそなわっているからこそ、日々の暮らしにも反映されていた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 機会ある毎に評価の必要性を説明し職員全員で検討することで新たな改善策の気づきを深めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員の意見を評価することでサービス向上に活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 会議を通してクラブ参加など交流の場を設ける事ができた。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の声を大切にアンケート調査をしたり苦情窓口方法も理解しやすく説明し明示している。不適合報告書にもまとめ改善策を全職員で共有し意識つけている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者手づくりの刺し子の布巾や雑巾を役所や学校などの公共施設に寄付したり、折り紙や絵を文化祭に出品し入選するなど地域への働きかけを積極的にしている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民の一員として地域に溶け込める理念をモットーに働きかけている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時事業所独自の理念を唱和し共有している。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会加入にとらわれず利用者手作りの刺し子を市役所や学校などの公共施設に提供しホームのアピールに努めていた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日頃から評価意義を勉強会などで説明し自己評価は全職員で取り組んでる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での会議録を職員間で共有し民生員主催クラブ参加や家族交流芋煮会を実施するなど活発に意見交流の場を設けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
/////////					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一回最近の暮らしぶりをお伝えする写真つきホーム新聞と請求書を同封し報告している。請求書備考欄には近況報告がコメントされ堅苦しいイメージを取り除く工夫がされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にホーム苦情相談窓口を設け利用方法を文書で明示し改善策の検討内容も開示している。また運営推進会議においても報告している。家族アンケートを実施し集計することで現状把握に努めサービスの質の向上は図っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設時より職員の異動が少なくなじみの職員による継続支援がされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキル別にあわせた外部研修を実施し報告書作成、勉強会を通して職員間で共有しスキル向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福島県グループホーム連絡会に加入し同業者との交流を持つ機会を作っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>人生の先輩としての知恵袋を発揮できる場を築いている。(梅干づくりや干し柿づくりなど)</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
担当者会議を通して					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日頃から意見、意向の把握に努め本人本位に有利なケアプランを立てている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプラン作成時や更新時に担当者会議を通して意見、意向の取入れを実施し職員間で共有している。また面会時に要望を聞くなど日頃から傾聴姿勢を整えている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>短期・長期目標の見直しは勿論のこと流動的変化に対しても現状に応じたケアプランに反映できるよう適宜担当者会議を開いて検討している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を重視し継続治療できるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日頃から重度化や終末期に向けた意向を家族より聞きとり職員は看取り研修会参加などの心得ができています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシー保守を確保し個性を尊重した支援に心が掛けている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の暮らしぶりを大切に考慮したペース配分になっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者からの搬入によりある程度メニューは決定しているがその日の好みに合わせ味付けや調理方法を変更するなど臨機応変に対応し食への楽しみごとや関心を深めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯は午前、午後、夕方の三回に仕切り毎日入浴ができる。本人の希望を聞き事故防止や見守りの徹底のためにも日中の入浴支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個性を發揮してもらえる場を作っている。昔とった杵づかの支援がされていた。(刺し子、歌、習字など)1階フロアーにはウサギのペットが癒し的存在であった。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎月季節行事を取り入れ外出支援に心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中施錠していないが外出要望者に対しては付き添い支援をしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回避難訓練を実行するほか定期的に一階、二階毎のシュミレーションを通して避難箇所を確認している。また職員は救命訓練や勉強会を繰り返し行い方法を身につけている。地域の協力体制を得られるよう近所に散歩の際は声かけしている。		自治会加入にこだわらず区長さんの一声で年二回の訓練時に地域住民の参加導入も考慮してもらえるよう宣伝してもらおう。(回覧版、地区広報誌など)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量はチェックし記録している。好みの食べ物で水分補給も心がけている。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きな窓やテラスから日差しが入り広いリビングも明るさと暖かさが感じられた。利用者の作品のちぎり絵や刺し子が飾られ調和がとられていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはテレビやたんす、写真などが持ち込まれ整理整頓がされていた。		

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 GH宝柳家

記入担当者名 越中八末代

評価結果に対する事業所の意見

特にありません。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。